



働き方・休み方 改善ハンドブック



金融業(地方銀行業)編

多様性に基づく成長とさらなる地域貢献へ



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare



目次

はじめに	1
地方銀行が働き方・休み方の改善に取り組む意義	2
〔取組ポイントの紹介〕	
その1. 方針・目標の明確化	5
その2. 改善推進の体制づくり	7
その3. 改善促進の制度化	9
その4. 改善促進のルール化	12
その5. 意識改善	14
その6. 情報提供・相談	16
その7. 仕事の進め方改善	18
その8. 実態把握・管理	20
〔企業事例〕	
企業事例1（千葉銀行）	22
企業事例2（七十七銀行）	24
企業事例3（山陰合同銀行）	26
企業事例4（常陽銀行）	28

はじめに

この「働き方・休み方改善ハンドブック 金融業（地方銀行業編）」は、地方銀行業において、働き方・休み方の見直しの取組を各行が推進し、重要な経営資源である人材がイキイキと活躍する生産性の高い職場環境を実現していくために使っていただくことを目的に作成されました。

全国の地方銀行を見ると、地域のお客様から高い評価を受けながら、各支店・営業所等の創意工夫を活かしつつ働き方・休み方の改善を行い、効率的な経営とメリハリのある働き方の実現に向けて取り組んでいる事例が多くあります。とはいえ、経営環境の変化や業務の特性と関連して「一部の部署では朝早く、夜遅い」「平日に休みをとりにくい」などの課題も指摘されています。

このハンドブックでは、様々な地方銀行の取組事例をもとに、長時間労働や、休暇を取らずに働き続けることのない働き方を実現するための考え方・方法を解説していきます。

働き方・休み方の改善は、人材が重要な経営資源である地方銀行業にとって、現在、各行で働く人材が今後も活躍を続けていくためにも、また、これから社会に出る若者たちに魅力的な働き場所を提供するためにも重要な意義を持ちます。さらに、地方銀行が、地域の代表的企業として、地域における働き方・休み方改善のモデルとなりその先導役を担っていくことも期待されています。働き方・休み方の改善によって、行員一人一人の生産性を向上させることで、地域経済の活性化や良好な就業の場の創出がはかれることは、地方創生に貢献することにもなります。

まずは各行の経営者や人事労務担当者の皆様が、働き方・休み方改善の重要性を理解し、自らが率先して働き方・休み方改善に取り組んでいきましょう。

また、行員の方にも、本ハンドブックを手にとりいただき、自らの働き方・休み方について何かしらの気づきを得ていただく機会としましょう。